

十月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 072-633-5757 FAX 072-633-5759

先の台風18号が、各地に深い爪痕を残していききました。1日も早い復旧を望みます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十七年十月のご案内を申し上げます。

ほう おん こう ほう よう こん しゅう

報恩講法要厳修

日時 十月十七日(土) 昼二時・夜七時
十八日(日) 朝十時

講師 前築地本願寺宗務長

北 畠 晃 融 師

■報恩講は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとってのもっとも大切なご法縁といえます。(本願寺ホームページより)

■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●報恩講の準備にご協力下さい

* * *

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしく願います。

10月13日(火) 午後7時 於西福寺本堂 おみがき(仏具を磨きます)
10月16日(金) 午後7時 於西福寺本堂 おかざり(供物をそなえます)

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-622-3725

親鸞聖人を偲ぶ報恩講

10月17日(土) 夜7時から初夜法要では、「奉讃大師作法(ほつさんだいしさをほう)」が勤められます。「るんびに太鼓」のメンバーによる雅楽演奏の中、諸僧入堂。正信偈のお勤め後、諸僧は立ち上がり念仏と共に散華、色とりどりの花が舞います。回向句がとえられ、諸僧退出。法要は終わります。

お勤めの後「親鸞聖人物語」のビデオ鑑賞。10センチ足らずのかわいらしい紙粘土人形が生き生きと親鸞聖人の「ご生涯を描き出します。皆さまからご提案頂き、昨年同様、10月に執り行います。お間違いのないよう、お誘い合わせの上、お参り下さい。

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日



正信偈のつづき ④

◆建立無上殊勝願 超發希有大弘誓

【意訳】すぐれし願を建てたまひ、まれなる誓いおこします

諸仏の浄土を選び取り、西の彼方に極楽という浄土を建立されました。この上なく優れているので、超世希有の大願とも横超の大誓願とも申します。

◆五劫思惟之摂受

【意訳】ながき思惟の時へてぞ この願選び取りませり

一劫とは、四十里(約16km)四方の石を三年に一度ずつ天女が身にまとうような薄い衣で払って、その石が摩滅するほどの長い時間のことです。その五倍もの時間をかけて法蔵菩薩は考え抜かれ、どれほどの罪人であれ障り多き者であれ、一人として漏らすことなく浄土へと導き入れようと誓われました。

◆重誓名声聞十方

【意訳】かさねてさらに誓うらく わが名よひろく聞こえかし

十方のありとあらゆる世界の中で、たとえひとつでも我が名の届かないところがあつて、救うことのできない者がいるような不完全な悟りしか得られなければ、決して阿弥陀仏とは成らないと誓われました。

